

令和4年度全国学力・学習状況調査～御浜町の結果概要～

令和4年9月1日 御浜町教育委員会

1. 各教科の「平均正答率」及び「平均正答数」

【小学校】 6年生：55名	国語	算数	理科 (3年に1回実施)
御浜町	57% (8.0/14問)	56% (9.0/16問)	57% (9.8/17問)
三重県	65% (9.0/14問)	62% (10.0/16問)	63% (10.6/17問)
全国	65.6% (9.2/14問)	63.2% (10.1/16問)	63.3% (10.8/17問)
平均無解答率（御浜町）	7.7%	3.3%	5.9%
平均無解答率（全国）	5.7%	3.5%	3.6%

- ・町平均正答率は、全国平均との比較では、3教科ともに全国平均を下回り、平均正答数でそれぞれおよそ1問分下回っています。
- ・また、町平均無解答率は、国語と理科では全国を2ptほど上回るものの、算数は全国平均を0.2pt下回るなど、今年度も6年生の児童たちは粘り強くテストに取り組んだことが伺われます。

【中学校】 3年生：70名	国語	数学	理科 (3年に1回実施)
御浜町	65% (9.1/14問)	49% (6.8/14問)	46% (9.7/21問)
三重県	68% (9.6/14問)	52% (7.3/14問)	48% (10.1/21問)
全国	69.0% (9.7/14問)	51.4% (7.2/14問)	49.3% (10.4/21問)
平均無解答率（御浜町）	5.1%	11.1%	4.2%
平均無解答率（全国）	4.3%	10.8%	3.4%

- ・町平均正答率は、3教科とも全国平均を下回ったものの、その差は、平均正答数では-0.4問～-0.7問、平均正答率においても-2.4pt～-4ptの範囲となっています。
- ・町平均無解答率も、3教科とも全国平均を上回るものの、その差はどの教科も1pt以内で、中学3年生たちも粘り強くテストに取り組む姿勢を見せてくれました。

～ 平均無解答率の改善について ～

以前は、国語でも算数・数学でも長文の問題が出題されると、問題も読まずに最初から解答をあきらめてしまう児童生徒も少なくありませんでした。

しかし、近年、町内の小中学校では、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックなどのテストで、「わからなかった問題やできなかった問題を、できるようになるまで取り組もう」と、丁寧な指導に取り組んできました。また、定期テストや普段の授業においても、簡単にあきらめてしまわず粘り強く考えようという指導にも丁寧に取り組んできました。

そのような各学校での継続的な指導の結果、今年度の平均無回答率は小学校算数以外は全国平均をわずかに上回ったものの、ここ数年は町平均無解答率が減少する傾向（粘り強い姿勢で学習に取り組もうとする児童生徒が増えている）にあり、町内児童生徒たちの成長につながっているといえます。

《参考》「標準化得点」による経年変化の比較

全国学力・学習状況調査の各教科の問題は、毎年問題数や難易度等が異なることから、各年度の平均正答数や平均正答率だけで単純な比較はできません。

そこで、御浜町における経年変化を比較するために、文部科学省が作成した「標準化得点換算ツール」を使用して、その年の全国平均正答率を100とした場合の御浜町における得点状況を「標準化得点」として算出しました。（表1）

小学校	<i>R4</i>	R3	R1	中学校	<i>R4</i>	R3	R1
国語	96	96	99	国語	98	99	99
算数	97	97	101	数学	99	101	100
全国	100	100	100	全国	100	100	100

（表1）

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

- ・この「標準化得点」に換算して前年度と比較してみると、小学校では国語、算数ともR3年度と同得点となっており、全国平均からの差もR3年度と同じ3～4ptに収まっていることがわかります。
- ・中学校ではR3年度と比較すると、国語で1pt、数学でも2pt下回りましたが、98、99点とほぼ全国平均に近い得点となっています。

R1年度（小学6年）		⇒	R4年度（中学3年）	
国語	99		国語	98
算数	101		数学	99

（表2）

- ・また、この標準化得点で中学3年生が小学6年時（R1年度）に受けた本調査を比較してみると、小学校と中学校で学力調査の内容が全く異なるとはいえ、国語、数学（算数）ともに1～2pt下回っています。（表2）
- ・これらの結果から明らかになってきた課題（次項）については、町内の各小中学校において具体的な結果分析と授業改善に向けた取組がすすめられるよう、県教育委員会と連携して指導・支援に取り組めます。

2. 各教科における特徴的な傾向

平均正答率が「全国より高い」あるいは「全国より低い」問題や領域に着目し、それらの問題から各教科の学習指導要領の領域ごとの特徴的な傾向（今年度の御浜町の児童生徒の強みと弱み）を示しています。

【小学校】

国語	<p>○全国より高い…「話すこと・聞くこと」 話すこと・聞くことに関する問題「必要なことを質問し、伝えたいことや聞きたいこと」の中心を捉える」については、正答率 89%と、全国平均を 4pt 上回る</p> <p>●全国より低い…、「読むこと」、「書くこと」 読むことに関する問題「人物像や物語の全体像を具体的に想像する」については、正答率 46%と全国平均を 23pt 下回る</p>
算数	<p>○全国より高い…「数と計算」 数と計算に関する問題「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することができる」については、正答率 80%と全国平均を 4pt 上回る</p> <p>●全国より低い…「図形」、「変化と関係」、「データの活用」 図形に関する記述式の問題「正三角形の性質を基に、正三角形の構成の仕方について考察する」については、正答率 29%と全国平均を 20pt 下回る</p>
理科	<p>○全国より高い…「エネルギー」、「生命」を柱とする領域 生命を柱とする領域の問題「観察で収集した情報を基に、まとめを検討し、自分の考えを記述できる」については、正答率 75%と全国平均を 7pt 上回る</p> <p>●全国より低い…「粒子」、「地球」を柱とする領域 粒子を柱とする領域の問題「実験の結果を基に、まとめを検討し、自分の考えを持つことができる」については、正答率 49%と全国平均を 14pt 下回る</p>

【中学校】

国語	<p>○全国より高い…「書くこと」 我が国の言語文化に関する問題「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する」については、正答率 84%と全国平均を 3pt 上回る</p> <p>●全国より低い…「話すこと・聞くこと」 言葉の特徴や使い方に関する問題「自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す」については、正答率 38%と全国平均を 14pt 下回る</p>
数学	<p>○全国より高い…「データの活用」 データの活用に関する問題「多数の観察や思考によって得られる確率の意味を理解している」については、正答率が 91%と、全国平均より 8pt 上回る</p> <p>●全国より低い…「数と式」、「関数」 一次関数に関する問題「一次関数の変化の割合の意味を理解している」については、正答率が 24%と、全国平均を 14pt 下回る</p>
理科	<p>○全国より高い…「生命」を柱とする領域 生命を柱とする領域の問題「複数の脊椎動物の足の骨格について分析・解釈ができる」については、正答率 77%と全国平均を 12pt 上回る</p> <p>●全国より低い…「エネルギー」、「地球」を柱とする領域 エネルギーを柱とする領域の問題「モデルを使い、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できる」については、正答率 66%と全国平均を 13pt 下回る</p>

* 上記のような特徴的な傾向を踏まえ、自分の考えが伝わる文章になるよう根拠を明確にして書くこと、科学的な探求の過程で課題を見つけ、自分の考えを検討・改善することなど、「全国より低い」領域を中心として明らかになってきた課題に

については、各学校においてさらに詳細な分析・検討に取り組み、県教育委員会の支援も受けながら指導方法の改善に活用するよう指導していく予定です。

3. 児童・生徒質問紙調査における特徴的な傾向

「児童・生徒質問紙調査」とは、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査です。

ここでは、肯定的な回答が多かった質問に焦点を当て、御浜町の児童生徒の特徴的な傾向を示している質問とその回答を取り上げて分析（コメント）します。

《 学びの充実に向けて 》

【小学校】

* 肯定的な回答の割合

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	86%	80%	+6pt
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	84%	69%	+15pt
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	71%	80%	-9t

【中学校】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
数学の勉強は好きだ	60%	58%	+2pt
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	49%	47%	+2pt
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	81%	75%	+6pt

◎小中ともに、算数や数学の学習に対する意欲や関心の高さがうかがえる。とくに小学校では、「普段の生活の中での活用」が全国より 15pt も高いなど、学んだことの活用や応用に重点を置いた授業が展開されていることが伺える。

◎一方で、「自分にあった教え方」については、中学校で全国平均を 6pt 上回っているものの、小学校では 30%もの児童がそうでないと感じており、R3 年度と比較しても 15pt 低くなっている。今後は、学習内容の習熟の程度に応じた学習や児童生徒の興味・関心等に応じた学習、補足的な学習や発展的な学習を取り入れるなど、個に応じた学習指導の改善・充実に努める必要がある。

～ 主体的・対話的で深い学び～

【中学校】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81%	79%	+2pt
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	89%	79%	+10pt
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	72%	63%	+9pt

◎中学校では、3つの質問項目とも全国を上回っており、生徒たちが自ら取り組んだり、話し合いで考えを深めたり、工夫して発表したりする学習場面を積極的に取り入れながら、指導方法の改善に取り組んでいる様子が伺える。すなわち、学習指導要領に示された「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の成果が、生徒たちの声からも実感できるようになってきたことがわかる。

～GIGA スクール構想の実現（ICT 教育）～

【小学校】

* 肯定的な回答の割合

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した	86%	83%	+3pt
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う	95%	94%	+1pt

【中学校】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用した	95%	81%	+14pt
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う	93%	92%	+1pt

◎ICT機器を活用した学習状況については、小中ともに授業等での使用頻度が非常に高く、全国に比べても大幅に上回っている。また、使用するだけでなく、90%以上の児童生徒がICT機器の活用は勉強に役立つと回答していることから、町内では1人1台端末の日常的かつ効果的な利活用が定着してきていると言える。ICT機器の利活用については、今後も町内小中学校において積極的に推進していきたい。

《家庭学習・生活習慣について》

【小学校】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）	67%	77%	-10pt
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をする	51%	59%	-8pt

【中学校】

質問項目	御浜町	全 国	全国との比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）	64%	59%	+5pt
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をする	53%	70%	-17pt

◎家庭学習に計画的に取り組む姿勢や意欲については、小中ともに肯定的な回答が65%前後であり、学力調査の結果とも関連して、家庭での学習習慣を定着させることは、町内小中学校の指導課題の一つである。

◎また、学習時間（1日あたり1時間以上）についても、小中ともに全国を下回っており、半数近くの中学3年生が十分な学習習慣を身につけられていないと言える。今後、受験等が控えていることもあり、自分の進路希望を実現していくための進路指導とあわせて、自主的な家庭学習の定着を図る指導を進めていく必要がある。

◎毎日の生活の中に学習習慣（学習時間）をきちんと位置付けていく指導をすすめるために、今後も学校と家庭の連携・協力をさらに深めていきたい。

《自尊感情・目的意識について》

【小学校】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思う	60%	79%	-19pt
将来の夢や目標を持っている	75%	80%	-5pt
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している	66%	73%	-7pt

【中学校】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思う	79%	79%	0pt
将来の夢や目標を持っている	65%	67%	-2pt
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している	68%	67%	+1pt

◎小学校では、3つの質問項目とも全国を下回り、「自分によいところがある」という質問では、R3年度を18ptも下回っている。つまり、自分に自信が持てない児童が多い傾向にあるため、今後は最高学年（リーダー）としての責任ある行動や経験を積ませることで、自尊感情や自己肯定感を向上させる指導に取り組む必要があると言える。さらに、自尊感情を高める中で、学習に対しても「やればできる」という意欲を持たせ、学力向上へとつなげていきたい。

◎中学校については、ほぼ全国平均並みの自尊感情・目的意識となっているが、中学3年生として人生初の進路選択に臨むにあたり、さらに一人ひとりに応じた進路指導・キャリア教育を進めていく必要がある。

《地域との関わり、社会への関心について》

【小学校】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
今住んでいる地域の行事に参加している	47%	53%	-6pt

【中学校】

質問項目	御浜町	全国	全国との比較
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	46%	40%	+6pt

◎コロナ禍の中、町内の多くの小中学校でコミュニティ・スクールとしての活動や地域との交流活動を制限せざるを得ず、小学校の地域行事への参加がずいぶん減少している。コロナ禍が落ち着けば、児童たちの自己肯定感や自己有用感を向上させる

ためにも、コミュニティ・スクールの活動を中心とした地域との交流活動を積極的に推進していきたい。

◎中学校では、およそ半数の生徒が「地域や社会をよくするために」という意識を持っている。このことも、コミュニティ・スクール等の活動を通じて、地域の方との関わる機会が多く、授業だけでは学べない、ものの見方や考え方に触れることで、御浜町の将来への関心や郷土愛へとつながってきたと考えられる。

4. 今後の町教育委員会の取組 =改善に向けて=

町教育委員会では、学力・学習状況調査やみえスタディ・チェック等の結果からわかる子どもたちの様子や、町内小中学校の学力向上、授業改善の取組の成果・課題などの特徴をとらえ、具体的な施策に反映していく予定です。具体的には、次のように年間を通じて各学校の主体的な取組を支援する「授業力向上支援事業」を中心とした学力向上の取組を組織的・継続的に進めています。

1. 授業改善に資する公開授業研究会の開催、全国や県内の「学びの共同体」の研修会参加や先進校視察

- ・「学びの共同体」の理念に基づいた授業改革を目指すため、著名な大学教授等を講師として招聘した公開授業研究会を、町内各小中学校が組織的に連携しながら、年間を通じて計画的・系統的に開催する。（各学校年3回の開催）
- ・学びの共同体研究大会等の研修会への参加や先進校視察など授業改革のための研修を深める。

2. 全国学力・学習状況調査・みえスタディ・チェックの活用と指導法の改善

- ・子どもたちの自尊感情・自己有用感を大切にされた指導をすすめ、前向きに挑戦し学び続ける児童・生徒を育成するため、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用した事前・事後の取組をすすめ、その分析結果を基にした指導法の改善に取り組む。

3. 町全体としての組織的・系統的な研修体制の構築

- ・校種や規模の異なる町内他校の公開授業研究会への参加・連携や、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックを活用した授業改善やその取組の共有・交流によって、町全体としての組織的・系統的な研修体制の構築をすすめる。

今後も、県教育委員会と連携しながら、これらの事業等を充実・発展させるとともに、見直しも図りながら、町内児童生徒の学力向上に向けた各学校の取組への指導・支援に取り組んでまいります。